



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

- 国際主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がる  
アジア区主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がる  
西日本区主題 飛翔たとう ワイズスピリットを胸に 泰然自若の精神で  
京都部主題 ワイズにビジョンを、思いやりと共に ~世界のワイズが輪になって~  
メネット主題 「愛の心」 ~原点に立ち返って私たちに出来ること~



奉仕者は一人の妻の夫で、子供たちと自分の家庭をよく治める人でなければなりません。

テモテの信徒への手紙一 第3章12節

「ユースに語り継ごう、ワイズの夢！」

西日本区Yサ・ユース事業主任 亀浦 正行



二十歳に満たないジョージ・ウィリアムズが、郷里ダルバートンからロンドンに出た時の、不安と期待が行き来する心象は、自らの同じ年頃に時間と空間を超えて思いを馳せる時、その心模様  
が少しは合致するのではと考えることがあります。その頃の心持には、私のみでなく全ての人の心象に同根のものがあるように思います。芽生えつつある大人社会へのアンチテーゼと、足りないたくさんの何かを求めながら、泉のように湧いてくる夢と想いとを、ごちゃまぜにしなごう、時には自らを深く見つめ、時には心の襞（ひだ）をひっかかれながら、時には裏側の襞を自らひっかきながら、その夢と失意を何度も行きつ戻りつし、求め続けたジンテーゼ。

ウィリアムズが、隣の友に語りかけたことがきっかけとなり、YMCAが生まれたとあります。167年を経て、ウィリアムズの想いは、多くのYMCAに集う若者、ワイズメンの心から心を経て、今、私たちの心にあります。ちょっと、くどい説明になりますが、私たちワイズメンそれぞれの、あの若いころの、あの感性豊かな高鳴る胸を通り、そして時の流れのなかで、たくさんの方々の個性や感性を積み重ねながら、次代への贈り物として、今ここに「存在」する、ということでしょうか。この贈り物を、私たちは、ワイズメンズクラブとYMCAに集う、若者に手渡ししていくことになりました。

Yサ・ユース事業主任を担当させていただくことになり、各部会、役員会、周年例会、YYフォーラムへと参加する機会をいただきました。野外リーダーさん達が、YYフォーラムを企画し、運営してくれた部もありました。彼らの感動を抑えきれないはち切れんばかりの活動報告を聞いている、ワイズメンの皆さん、YMCAスタッフの皆さんの胸音が、発表している、リーダーさん以上に弾んでいる様子がわかります。その発表を聞いていた私の隣にお座りになっていたワイズメンの横顔は、とても優しい微笑です。目には嬉しさと感動の涙が浮かんでいるようにも見えました。YMCAで野外リーダーとなり、そのリーダー名に愛着を持ち、何より接する子供たちの笑顔が限りなく嬉しいと報告してくれました。リーダー活動で、出会った「仲間」と経験したすべてのことが、宝だと言ってくれました。大学4年となり、この3月から社会人となって巣立っていくけれど、これらの経験を生涯大切にします、一生忘れることはないでしょう。この発表の機会を作っていただいたYMCAと今日お集まりのワイズメンの皆さんに心より感謝と御礼を申し上げますと締めつけたフォーラム最後の挨拶では、間違いなく、私の隣のワイズメンの目から涙が一筋流れました。

最後にお願ひです。今年はアジア大会です。アジアエリアユースコンボケーションに、是非、御クラブからもユースを派遣してください。各部のユースの方々に、この集いに参加いただき、次代を担うワイズメンとなっただけならば幸いです。私たちから、ユースに心の贈り物を届けましょう。

強調  
月間

Leader Training

実務に主体性を置き、10年度の全事業に徹底する。できる限り事業に反映させ、西日本区全体の発展に繋げる。

仁科 保雄 西日本区理事

会長主題

豊かな心を求めて  
YMCAと共に

Restart!  
Aim for double

- 会長 森 伸二郎  
副会長 三村 良行  
小泉 洋  
書記 岡西 博司  
会計 永濱 貴章

5月例会案内

11日(水)  
第一例会

自クラブ診断テストにトライして、わがクラブを知り将来への道筋を探ろう

22日(日)  
第二例会

チャリティーラン  
元気で健康でいられる事に感謝して、チャリティーランを成功させよう。

例会出席

4月第1例会	11名
4月第2例会	12名
在籍者数	15名
出席率	93.3%
前回出席修正	

B Fポイント

切手	0pt
現金	22,500円
累計	25,430円

ニコニコ

4月第1例会	0円
4月第2例会	0円
累計	49,500円

ファンド

	0円
累計	314,4650円



毎年4月恒例のファミリー例会。ドライバー委員長として家族で一日楽しめる施設への訪問を企画立案。下見を兼ねて家族で訪れようと日程を調整していたのが3月中旬。その数日後に東北地方で発生した未曾有の自然災害。その被害の大きさは時間と共に拡大し、戦後最悪の自然災害となった。

震災直後、ファミリー例会は当初の計画を実行する予定で検討を進めていた。しかし、東北地方の被害があまりにも甚大であること、また連日報道される被災地の状況に心が折れ、例会を楽しめる心境ではなくなってしまった。その為、例会予定日まで一ヵ月を切っていたが、メンバーの皆様の賛同を得たうえで急遽予定を変更。規模を縮小する形での例会とさせて頂いた。

行き先は奈良。近場で雰囲気がい奈良町散策を森会長に提案して頂いた。京都駅から近鉄特急にて奈良に到着。到着後は昼食を早々に済ませてメンバーみんなで奈良の町をゆったりと散策。天候にも恵まれ、また桜のシーズンも重なりかなりの観光客に揉まれながらの奈良散歩。奈良町から興福寺、奈良公園から東大寺と大和路を満喫する。この季節、京都もイイが奈良もイイ。特に文化財建築物の質は京都よりも奈良の方が良い（個人的な好みですが）。電車に乗って40分程度、あらためて日本の美しさを再認識させられた散策。

今回のファミリー例会縮小によって捻出した予算¥100,000-を義援金としてYMCAへ寄付させて頂いた。規模を大幅に縮小しての例会開催に対し、快諾して頂いたメンバーの皆様に感謝です。最後になりましたが、被災地の皆様の一日も早い復興を願います。微力ですが、来期も引き続き支援を継続してゆければと考えます。



## 4月第二例会

2011年4月20日  
EMC委員長 廣井 武司 ys

震災から今日まで、重苦しい空気が私たちの上に覆いかぶさったままで、なかなか心が晴れてこない毎日を過ごしている。こんなときクラブのメンバーの温かい笑顔と握手は、ひととき心を前向きに導いてくれます。

今日の例会もお休みのメンバーが目立つ。会員が少ないのでなおさら気になるのでしょうか。今期EMCを会長より拝命したのに、結果をだせずにいる自分に居場所が見つけにくくなってきた。

「みんなで東日本大震災の募金をしましょう」と会長挨拶、募金箱を回してみんなの心をまとめました。そして挨拶の最後に述べられた言葉が食事中ずっと気になったのは、私だけだったでしょうか？

京都YMCAの神崎総主事をゲストスピーカーにお迎えしての今例会は、震災後いち早く現地に出向き、その状況を見てこられた報告と今後の活動について、YMCAとしての被災地支援活動の状況、みんなでおこなった、またこれからも行うであろう募金の流れなど詳しくお話を聞くことが出来ました。あまりの熱弁に時間はあっという間に過ぎて行きました。阪神大震災の時のように、炊き出しをしたりなどの直接の行動は今回出来ませんが、それでもいま私たちにできる活動について示唆いただけました。

今回起こった大震災が、地震、津波にとどまらず、原発事故を起こしてあらぬ風評被害もおこっています。わたしならいいやり方があるとうそぶくつまらない政治家、テレビで雄弁に語る原子力学者やにわか評論家など何を信じればいいのか不安になります。こんな時こそ出来る範囲で冷静な眼をもってYMCAと協働して行ければと感じます。なお、3月の縮小したファミリー例会での余剰金をYMCAにこの日お渡ししました。一日も早い平和と安全が訪れますように……





4月17日(日曜日)にリトリートセンターに於いて第12回夜桜フェスタが開催され、ウェルクラブは4月第2例会にしていた為、上野会長を始め、松田、中村、堤、新メンバーの小田、そして阿部主事の6名全員で参加致しました。プリンスクラブからは森会長率いる森家ご一同様と西村ご夫妻が参加されました。

1週間程前の週間天気予報では今ひとつの空模様の予報でしたが、上手い具合に回復し、当日は少し肌寒かったものの雨の心配も無く良い天気にも恵まれました。しかし現地に着いたメンバーが一同にビックリしたのですが、今年は何と夜桜フェスタ開催史上初と言って良いくらい桜が咲いて無い状態で、とても貧相な寂しい感じのする開催となってしまいました。でも正直心は花より団子ですもんね！そう思い気持ちを入れ替え、研修棟で行われたYYフォーラムに参加をし、グローバル・コミュニティ・スタディ研修の報告と、京都YMCAの野外活動と国際リーダーの働きについての説明があり、その後もユースコンポケーションの報告や京都YMCAの公益法人化と会員制度の変更についての説明があり、とても有意義な2時間となりました。

そしてその後はお待ちかねのお祭りに向けての準備が始まり、ウェルクラブは毎年恒例の揚げたこ焼きの出店を致しました。メンバーの皆さんが手慣れた様子で用意をしている内に5時となり、和太鼓の演奏で開宴となりました。屋台は他に天ぷらうどんや焼きそば、フランクフルト、肉まん、串カツ、チーズフォンデュ、焼き鳥、ご飯と漬物、豚汁、コロッケ、薫製、そしてゼロクラブが造られた窯で焼いた本格石窯ピザやみたらし団子、フルーツポンチ、ポップコーンと多種多様で大満足の内容でした。またステージではバンドの演奏やベリーダンス、ジャズダンス、そして開会セレモニーをされた和太鼓の方の演奏で目と耳を楽しませて頂き、プリンスクラブの皆さん共々全員ハッピーな1日になりました。そして7時になり花の付いていない桜の木がライトアップされ、また複雑な思いになりながらリトセンを後にしました。

来年はプリンスクラブの皆さんも是非たくさんでご参加下さい。



### 東広島クラブからの報告

目に青葉.....良い季節になりました。先日の震災支援のための“酒かす”販売には早速のご注文頂き本当にありがとうございました。精算済み次第送金したいと思っています。

ゴールデンウィークには相変わらず人類大移動で道路は随分渋滞しているようです。広島では毎年3日～5日フラワ－フィスティバルでにぎわっています。5日には東広島YMCAの子供達が平和大通りを“よさこいおどり”のパレードに参加します。今年は3日間で170万人の人出だったそうです。

### 東京サンライズクラブからの報告

3月11日の東日本大震災と福島原発問題でワイズの動きもピタッと止まってしまいました。あずさ部では2年続いたの東日本区大会のホスト。昨年は横浜国際大会のあおりを食って開催そのものが危ぶまれ、今年はこの騒ぎ。お祓いでもしなければならいのでしょうか。今はギリギリの300までどうやったら届くのか、はらはらイライラするだけで何もできないことに歯がゆさを感じています。何はともあれ、7日～8日は山中湖センターでワークにいい汗を流してこようと思います。

気が早いですが、今年の交流会は、最初は広島で、次の日は京都なんかはいかがでしょうか。私たちはただ遊びに行くだけのようで心苦しいのですが、でも「楽しくなければワイズじゃない」とか、誰かがおっしゃっていたように思いますので、よろしく。

東日本大震災で被災された多くの方々、不安のただなかにある方々 お一人おひと

りに思いを寄せて

ネットワークは繋がることであり、情報やノウハウや知識の共有も繋がることの一つです。インターネットで世界が繋がることも、私たちのネットワークの力を大きく変革させました。また、繋がることは、人と人が出会い、相互に理解しあうこと、そして喜びや感動を共にすることが魅力でもあります。YMCAやワイズメンズクラブの喜びでもあります。しかし、本当に繋がることは、悲しさ、辛さ、心の痛みを共にすることを伴います。

日ごろ私たちは「言葉ではなく行動であらわしなさい」と訴え、自分自身を戒めます。私たちは自分自身が、災害や重い病にかかったり、心に大きな傷を負うなどした時に、初めてこれまでの自分の行いが「言葉だけ」であったことに気づき恥じるのが往々にしてあります。これこそが人間のもつ弱さであると思います。

繋がることで、痛みや悲しみを共に感じて相互に助け合う関係で、私の好きな日本語には「お互い様」という言葉があります。英語では「ありがとう」に返す言葉、これは「MY PLEASURE:私の喜びです」という言葉があります。このような関係で支えあうことが大切ではないでしょうか。そして、共に力を合わせることで「希望」を創りだし、その希望を大きく確かなものにできればと思います。

今、私たち一人ひとりができることを、そしてグループでできることを、それぞれの方法や時宜に、長い期間にわたって思いを寄せることが求められています。皆様の尊いご支援とご協力をお願いいたします。

### 1. 定期会員総会のご案内

日時 5月28日(土)午後5時30分～

場所 京都YMCA三條本館マナホール

会員の方々の積極的なご参加をお待ち致しております。お問い合わせ 電話(075)231-4388

### 2. 第7回京都YMCAかもがわチャリティーラン参加者・スポンサー(協賛金)募集中!

チャリティーランは、YMCAが提供するキャンプに障がいのある子どもたちが参加できるように支援するプログラムです。健康に走れる者が感謝の気持ちを持って走り、その喜びを参加費や協賛金として寄付するものです。数多くの方のご来場をお待ち致しております。

日時 5月22日(日)午前9時～午後3時 雨天決行

場所 鴨川公園(特設コース:北大路橋～出雲路橋1週1.7km / 北大路橋～出町橋1週5.1km)

種目・参加費 小学生駅伝(1チーム2,000円) / グループラン・ファミリーラン(1チーム5,000円) / 一般駅伝・クォーターマラソン(1名3,000円:学生・生徒1名1,000円) / ペアラン(1チーム1,000円)

### スポンサー募集

趣旨にご賛同いただける個人・企業・団体等は協賛金や参加費、物品寄付でぜひご協力ください。

協賛金 一口 10,000円(企業・団体) 一口 5,000円(個人)

物品寄付 参加賞、競技表彰商品、抽選会の賞品

お問い合わせ 電話(075)231-4388

### 3. YMCAサマープログラム参加者募集!

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。全てのプログラムは、まずはお電話にてご予約ください。

受付日時 キャンプ・デイキャンプ会員

6月7日(火)～8日(水) 午前10時～午後7時

会員・一般 6月9日(金)～ 午前10時～午後7時

電話(075)231-4388 (お問い合わせも左記電話まで)

会員先行申し込み期間の6月7日(火)～8日(水)の期間に限り電話に加えFAX・Eメールでもお申し込みいただけます。

FAX (075)251-0970

Eメールcampmoushikomi@kyotoymca.or.jp

短期集中スイミングスクール・鉄棒・とび箱が好きになる教室

会員 6月10日(金) 午前10時～

会員・一般 6月10日(金) 午後2時～

電話(075)255-4709 (お問い合わせも左記電話まで)

### 4. ボランティアセミナーのご案内

ボランティアセミナー「死に向かい合う - ホスピスでの経験から」田村恵子さんからメッセージ

講師 田村恵子氏 日本に200人いる日本看護協会認定がん看護専門看護師のパイオニアのひとり。ホスピスでがん患者を最後まで看取り、家族への看護にも取り組む姿勢がNHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」で2008年に放映され、反響を呼ぶ。現在淀川キリスト教病院・ホスピス主任看護課長。

日時 6月25日(土) 午後6時30分～8時30分

場所 京都YMCA 参加費 お一人300円

がん患者さんとそのご家族へ 第52回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 5月21日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA 参加費 お一人300円

ともお申込は京都YMCA 電話(075)231-4388

または vb@kyotoymca.or.jp

Happy Birthday

May

17日

三木 貴夫

今月のスケジュール

5月

11日(水) 第一例会 京都平安ホテル

18日(水) 次期三役会

22日(日) 鴨川チャリティーラン

25日(水) 役員会 京都YMCA

役員会報告

<承認された議案>

なし